

令和6年12月定例記者会見要旨

開催日時 令和6年12月25日(水) 午前10時30分 302会議室

(総務部長)こんにちは。いつもありがとうございます。それではただいまより12月の定例記者会見を始めます。よろしくお願いします。

(市長)皆さんこんにちは。記者クラブの皆様には1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。2024年、令和6年もあと1週間で年の瀬を迎える時期になりました。今年は記者クラブの皆様には、記者室の引越しをしていただいたり、昨年から復活しました交流会もご出席をいただいたり、ご協力をいただいたことに御礼申し上げます。それでは、今年最後の定例記者会見になりましたのでお知らせしてまいります。

最初に、令和6年度諏訪市重大ニュースがまとまりました。

重大というのは重たく大きいと書きまして、順番はつけてありますが、どれが上位でどれが下位ということではなくて、数をカウントする意味の番号でございます。

消防団の大活躍から諏訪湖周サイクリングロードの完成、AIオンデマンド交通チョイソコかりんちゃんの実証実験のスタートですとか、スポーツの関係では、パリオリンピックの銅メダル獲得等様々な活躍があったこと、周年事業では水道100周年、セントルイス50周年、台東区や秦野市も40周年というような事業がありました。防災の関係も元日夕方に発生した能登半島地震から、災害に対して、しっかりと意識づけをせざるをえなかったというような状況の中で、心構えを市民の皆様や各団体、行政としても認識を強めることができた1年だったかと思います。コンパクトシティ化計画の重要な位置付けである文化センター、駅西関係に関連しますこと、まちなか未来ビジョンプラットフォームの活動等もカウントされています。そして教育と保育、人口減少の中にあって、いかにその中で魅力的な現場を作っていくかという目的に沿って、逐次、色々な課題に取り組んだということで、諏訪市の重たく大きいニュースがまとまりましたのでお知らせいたしました。

(1月の日程説明等)

○元旦「初日の出リフト」を運行します(無料)

日程 令和7年1月1日(水・祝)

時間 午前6時30分～7時30分(日の出 午前7時前後)

霧ヶ峰に関しましては昨日、スキー場オープンの予定でありましたが、少し間に合わないということで昨日は安全祈願祭に急遽切り換えました。12月26日、朝8時30分が霧ヶ峰のリフトのスタートということになりましたので、併せてお知らせいたします。

○令和7年仕事始めの式 201会議室

1月6日(月) 8:45

○令和7年 新年賀詞交換会

日時 令和7年1月6日(月) 9:30

場所 諏訪市役所 5階 大会議室

参加人数 116名(令和6年実績)

○「上諏訪駅周辺のミライを考える講演会・ワークショップ」(第1回)

市では上諏訪駅西口広場の再整備に向けて、駅周辺(駅・柳並公園・市営駐車場などを含むエリア)の検討を始めます。駅とまちなかをつなぎ、将来の魅力的なまちづくりの中核を担う「駅周辺」にするため、市だけでなく、市民や事業者などの多様な主体が連携して、検討を進めていく必要があります。どのような駅周辺にして、どのように使いたいか、市民や関係する皆さんと一緒に考えて行きたいと思いますので、ぜひ参加をお願いします。

◇日時：令和7年1月11日(土) 13:00~17:00

1部：講演会(勉強会) 13:00~14:30

2部：市民ワークショップ 15:00~17:00

◇場所：すわっチャオ会議室 1~5 会議室

現在の申込状況

講演会のみ11名・講演会及びワークショップ24名 合計35名

申込人数が少ないため、下記募集期間を1月6日まで延長する。こぞってご応募を!

定員：1部勉強会 100名 2部市民WS 50名(どちらも先着)

募集期間：令和6年12月5日(木)~令和6年12月26日(木)

○第78回諏訪市消防出初式

1月12日(日) 諏訪市文化センター駐車場 ほか

観閲式 9:25

分団行進 9:55

表彰式 10:45

○諏訪市公設地方卸売市場 令和7年初市 公設地方卸売市場

1月5日(日) 7:00

○諏訪市役所発電所稼働セレモニー 諏訪市役所 1F ロビー

1月6日(月) 11:30

○令和7年度 当初予算（案）市長ヒアリング（～17日まで） 特別応接室

1月8日(水) 9:00

○企業版ふるさと納税に係る感謝状贈呈式 市長室

1月21日(火) 14:00

○ゆかり市長の出張トーク 市内

1月28日(火) 9:30

○令和6年度諏訪市美術館 長野県立美術館 交流名品展「交差する諏訪ー風景と人々ー」
諏訪市美術館

令和7年2月1日(土)～3月23日(日)

●展覧会概要

諏訪で交差する二つの美術館

長野県立美術館では2017年から、県内各地域の美術館と共に、協働で企画・立案・実施する交流名品展を開催しています。各地の美術館と交流し、双方のコレクションの中から、その地域にゆかりのある作家や、その土地の風景などを描いた作品を紹介し、地域の魅力を改めて感じてもらうことを目的とした事業です。そんな展覧会が、本年度は諏訪市美術館を会場として開催されます。諏訪市美術館と長野県立美術館の共同開催となる本展では、両館のコレクションから諏訪湖や製糸業などの諏訪地域を描いた作品や、諏訪地域にゆかりのある作家の作品を中心にご紹介します。距離にしておよそ100 km。普段は離れた位置にある二つの美術館と、それぞれの作品が交じり合った展覧会を、ぜひご覧ください。

ご案内は以上でございます。また来年もよろしく願い申し上げます。

(総務部長) それではこちらからの説明は以上とします。ここからは記者クラブさんの方にマイクを移させていただき、質問等していただきたいと思っております。今月の幹事社さんよろしく申し上げます。

記者との質疑応答

(記者) それでは、幹事社から質問させていただきます。この西口のワークショップですが、上諏訪駅西口広場整備の基本構想検討委員会と、このワークショップ、話し合いというのが連動するというお話でしたが、この基本構想というのはいつごろ策定される予定なのか、あるいはその後の全体的なスケジュール等が決まっているのか教えていただきたいと思いま

す。

(市長)基本構想につきましては、目標としては令和 6 年度から 7 年度中に上諏訪駅周辺地区整備基本構想を策定したいと予定として考えているところであります。今後、有識者、交通事業者、長野県等代表者で作ります上諏訪駅周辺地区整備基本構想検討委員会が立ち上がる予定になっております。その検討委員会と、このワークショップ上諏訪駅周辺の未来を考えるという皆さんを連動させて、官民共同で、この地域の大事な駅周辺を作っていきたいと考えているところです。ワークショップも複数回開催する予定でありますので、そのようにご案内いただきたいと思います。

(記者) 整備スケジュールは、実際にいつごろ着工するのか等、その辺りも決まっているのでしょうか。

(市長) 財政当局では、そうした大きな事業になってきますので、大まかな予測というのは持っておりますが、まだ公表できる段階ではありません。それは我々の毎年の予算の状況ですとか、例えば、この西口は都市再編整備集中支援事業を利活用させていただく予定ですが、そうした事情等もございますから、今この時点で何年ということはまだ申し上げられません。

(記者) プレゼンの中でお話があったこの P P A ですが、これはいつ稼働されるのでしょうか。

(市長) すでに稼働していると担当から聞いておりますが、経産省当局の認可を取るのに少し時間がかかっていたと報告がありました。ここで稼働できているということなので、セレモニーとして皆さんにお知らせする段取りになったと私も認識しています。詳しいことは、担当課の方に問い合わせさせていただいたらと思います。

(記者) フィリップモリスからの企業版ふるさと納税ですが、いくらのお付額でしょうか。

(市長) 金額につきましては、企業の方が公表を望んでおりません。それでもたくさんのご支援をいただいたことを感謝しています。

(記者) 霧ヶ峰の初日の出リフトの運行ですが、こちらは本年度で市が管理に関わるのが最後の年になるのですか。

(市長) 来年度まで市で運行いたします。指定管理制度へ移行するという方向で、今準備を進めている段階ですが、副市長を中心に事業が動いていますから副市長の方から願います。

(副市長) 来年度末まで、つまり令和 8 年の 3 月末までは、市営のリフトで運行しますので、初日の出リフトは、今日ご案内をした令和 7 年 1 月 1 日が最後ではなくて令和 8 年の正月、ここが最後になるかと思っております。指定管理の導入に向けては今準備を進めておりまして、令和 7 年度中に指定管理を公募し、決めていく段取りを今整えているところです。

(記者) 市場の初市ですが、これが公設最後の初市ということで、何か特別のセレモニーは予定されていますか。

(副市長) 例年と同様の段取りで考えております。

(記者) 7時にお伺いすればよろしいですか。

(副市長) はい。その時間で結構です。

(記者) 湖周の最終処分場の関係で、副市長の12月定例会の答弁で、市民にわかりやすい形で選出の手法についても言及されたと思いますが、もう少しわかりやすく説明、今の進捗も含めてお願いします。

(副市長) はい。まず選定に向けた庁内の組織を立ち上げるべく今準備を整えております。できれば年明けの早い時期に、そういった組織の実際の活動に入っていきたいと思っております。それから、議場の席で市民にわかりやすくとしたのは、当時、板沢区を選定する際には、限られた関係者の中で、様々な検討をしてみいました。それはその時のベストの選択であったと私は認識をしておりますが、ここで板沢区における建設を断念し、新たなスタートを仕切り直しとなりましたので、今後、選定地を検討していく際には、極力多くの方に、わかりやすい経過を報告するようなことを努力していきたいという思いで、市民にわかりやすく、選定をしていくというふうに申し上げました。具体的にどこでどういうふうに、ということは今からでございます。

(記者) 年明けにもその検討委員会の中で、庁内検討委員会が動き出すということですが、その検討の過程を市民にオープンにしていくという機会を設けたいということですか。

(副市長) まだそこまで具体的な詰めをしておりません。相手の選定をするということになれば、それを受け入れていただく相手の土地をお持ちの方だとか地域の方、もしくは私有地ということになってきますが、相手のいることですので、オープンにできることとできないことがあろうかと思っております。

(記者) オープンにできる部分は極力情報を出していくという透明性を確保していくということよろしいですか。

(副市長) はい。極力透明性を確保して市民の方々にお知らせできることは、お知らせしながら進めていきたいと思っております。

(記者) 庁内検討委員会というのは各部局で横断的な組織になるということよろしいですか。危機管理とか建設とか、アクセス道路とか土砂災害の危険等色々あると思いますが。

(副市長) おっしゃる通りです。私とその委員会の長に就いて、関係する部局課所を集めて進めてまいります。

(市長) 先ほどのご質問のあったオンサイトPPAの稼働の状況ですが、今が試験稼働中ということで、正式のスタートは1月6日ということございました。

それと皆さんに、教育委員会のいつものお知らせがいつの間にかいっていると思いますが、その中で博物館ですが、今年度末から1月31日まで、書類、資料の整理のため休館ということになりますので、ご承知をお願いいたします。

(記者) 先ほど、駅周辺の再編に向けた検討委員会を年度内に立ち上げるというお話でしたが、上諏訪まちなか未来ビジョンプラットフォームとのこの役割分担というのはどういう

形になるかをお願いします。

(市長) プラットフォームは、上諏訪周辺まちなか未来ビジョンを策定いただいた後、検討テーブルとしてでき上がった民間の皆さん、主に集合体で検討いただいています。色々な実証実験をしてもらって、これから立ち上げる構想の検討委員会というのは、有識者の皆さん、交通の事業者や県、その専門的な皆さんをお願いしてできるテーブルということになりますので、その双方を連動するという意味です。副市長からフォローいたします。

(副市長) 少しこれまでの経過を整理させていただきたいと思います。まちなか未来ビジョンというこのビジョン計画は、行政計画ではなくて、地域の任意の皆さんと市が協力して、駅周辺をどんなふうにしていこうか、というビジョンでありました。そのビジョンを策定し、実現していく主体が、スワ・マチ・ミライという団体です。まずそこを押さえていただいて、今度は上諏訪駅周辺地区の整備、これまでは西口整備と申してきましたが、上諏訪駅周辺の地区の整備と位置付けて、その基本構想を今、令和6~7年度の2年間で作っています。これは行政の仕事です。諏訪市の事業として、駅西を整備していく。今までは駅西整備と言ってきましたが、これを上諏訪駅周辺地区の整備というふうにくくり、その基本構想を6、7年度で今作っている。そのための検討委員会を年度中に立ち上げるということです。この検討委員会は市が中心になって作っていくのでスワ・マチ・ミライという組織とこの基本構想の検討委員会というのは別のもので、検討委員会は諏訪市が、事務局としても担っていくということでご理解ください。

(記者) わかりました。今後複数回開くワークショップというのも、これは市が主催するということでしょうか。

(副市長) これはスワ・マチ・ミライと諏訪市と共催で行っていきます。

(総務部長) ありがとうございます。先ほどご案内をしました賀詞交換会の参加者数ですが、令和7年参加者数は、現在申し込み117人ということで締め切らせていただきますので、予定人数は117名ということでお願いしたいと思います。それでは以上をもちまして12月の定例記者会見を終了します。

どうもありがとうございました。